

「元気発進！子どもプラン」事業評価票

平成 22 年度実施事業	新規	拡充	重点	継続

担当局/課	子ども家庭局/子ども家庭政策課
連絡先	582-2550

政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり
------	----------------------

事業名	情報提供の充実
-----	---------

【事業の概要】	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	子育て中の人や、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるよう、ホームページ、情報誌の内容や、情報提供方法の充実を図ることにより、必要とされる子育てに関する情報が、市民に届く仕組みを構築します。		
	その結果、実現を目指す施策名	施策名	子育ての悩みや不安への対応	

【目的実現の為に実施する内容】	実施工程	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計画変更理由	
		当初の予定	子育てマップの充実 子育て情報誌の作成	子育てマップの運営管理 子育て情報誌の作成				
	これまでの進捗状況、今後の予定	子育てマップの改修 子育て情報誌の作成 子育てマップアクセス件数: 739,006件	子育てマップの運営管理 子育て情報誌の作成					
【実施状況】	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)				平成22年度	平成23年度	目標	
	子育てマップのアクセス件数				計画	705,088 件	739,006 件	年度
	より多くの市民に、必要とされる子育てに関する情報が届いているかを図る活動指標として設定。				実績	739,006 件		内容
					達成度	104.8 %	%	
					計画			年度
					実績			内容
				達成度	%	%		
								事業費
				うち一般財源	6,349 千円	4,908 千円		

【事業の実施結果・進捗状況の確認】	
【実施結果】	22年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。 子育て中の保護者が子どもの成長や年齢に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるよう、 1 情報誌「こそだて情報」を子どもの成長や年齢に応じた構成に改修し、未就学児童数に見合う5万部発行しました。(平成22年7月) 2 ホームページ「子育てマップ北九州」を子どもの成長や年齢に応じた構成に改修するとともに、希望する市民に子育て情報を配信するメール配信システムや子育て中の保護者が自由に意見交換ができる掲示板を創設しました。(平成22年12月)

【事業の再検証】			
【評価】	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があつたのか。	4	情報誌「こそだて情報」やホームページ「子育てマップ北九州」の内容や提供方法の見直しを図ることにより、子育て中の保護者が子どもの成長や年齢に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるようになっていると考えます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	情報誌「こそだて情報」作成・配布にあたっては競争入札を行い、また、ホームページ「子育てマップ北九州」の運営については、子育て支援施設の指定管理業務の中で実施し、経済的・効率的な作成・配布に努めています。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	子育ての悩みや不安を感じている保護者が増加している現在、情報誌「こそだて情報」やホームページ「子育てマップ北九州」を活用した情報提供は、「子育ての悩みや不安の解消」に向けた情報を保護者にタイムリーに提供できる点で高い効果があります。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。	4	市の子育てに関する施策や施設に関する情報の取りまとめ等については、市のみが可能であり、実施主体としては市が適切であると考えます。
【今後の方向性】	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。 ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了	ウ	今後とも、子育て中の人や、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるよう、情報誌「こそだて情報」やホームページ「子育てマップ北九州」を活用した情報提供の継続実施に努めます。

【次年度計画】		
目的実現のために23年度に実施すること	23年度においても、子育て中の人や、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるよう、情報誌「こそだて情報」やホームページ「子育てマップ北九州」を活用した情報提供の継続実施に努めます。	前年度に評価した今後の方向性

「元気発進！子どもプラン」事業評価票

平成 22 年度実施事業	新規	拡充	重点	継続

担当局/課	子ども家庭局 保育課
連絡先	582-2412

政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり
------	----------------------

事業名	保育所・幼稚園情報の積極的な提供
-----	------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	市民が保育所を選択する際の一助となるよう、市ホームページの充実を図ります。	
	その結果、実現を目指す施策名	施策名	子育ての悩みや不安への対応

目的実現の為に実施する内容	実施工程	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計画変更理由	
		当初の予定	ホームページによる各保育所の入所状況の情報提供					
	これまでの進捗状況、今後の予定	ホームページの更新数 12回	ホームページによる各保育所の入所状況の情報提供					
実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)				平成22年度	平成23年度	目標	
	ホームページの更新数				計画	12回	12回	年度
	市内の各保育所の受入状況をホームページで公開し、毎月更新しています。				実績	12回		内容
					達成度	100%	%	内容
					計画			年度
					実績			内容
				達成度	#DIV/0! %	#DIV/0! %	内容	
コスト					事業費	千円	千円	
					うち一般財源	千円	千円	

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	22年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	計画どおりに毎月更新して情報提供をしました。
------	-------------------------------------	------------------------

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4:高い 3:やや高い 2:やや低い 1:低い	4	区役所等へ問い合わせることなく、各保育所の入所状況を把握できるため、情報提供の手段として有効性が高いと思われます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。		4	ホームページでの情報提供は効果が高く、低コストであり、これ以上のコスト削減は困難です。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。		4	保育所のニーズが高まる中、入所希望の保護者の情報収集に影響が大きいと思われます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。		4	市の事業の情報提供であるため、市が主体的に行うべきです。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	今後とも保育所の受け入れ状況をホームページでお知らせして、市民に情報提供をしていきます。	

【次年度計画】

目的実現のために23年度に実施すること	今後も継続的に情報提供を実施していきます。	前年度に評価した今後の方向性
---------------------	-----------------------	----------------

「元気発進！子どもプラン」事業評価票

平成 22 年度実施事業	新規	拡充	重点	継続

担当局/課	子ども家庭局/子ども家庭政策課
連絡先	582-2550

政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり
------	----------------------

事業名	保育所・幼稚園情報の積極的な提供
-----	------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	市民に愛され親しまれる保育所・幼稚園となるため、また、市民が保育所・幼稚園を選択する際の一助となるよう、ホームページの充実や、ガイドブックの作成などにより、積極的に、保育所・幼稚園の情報提供に取り組みます。さらに、タイムリーな情報提供を充実させるため、保育所・幼稚園に通う子どもや保護者向けの情報を、保育所・幼稚園を通して提供します。
	その結果、実現を目指す施策名	施策名 子育ての悩みや不安への対応

目的実現の為に実施する内容	実施工程	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計画変更理由
		当初の予定	保育所・幼稚園に通う子どもや保護者向けの情報を、保育所・幼稚園を通して提供				
これまでの進捗状況、今後の予定	H22.7「こそだて情報」を全保育所・幼稚園在籍児童に配布	保育所・幼稚園に通う子どもや保護者向けの情報を、保育所・幼稚園を通して提供					
実施状況	成果・活動指標（上段：指標名、下段：指標設定の考え方）		平成22年度		平成23年度		目標
	情報提供を行った保育所・幼稚園の箇所数		計画	262 箇所	262 箇所	年度	平成26年度
	保育所・幼稚園を通じた情報提供を行うことが、タイムリーな情報提供につながるため、活動指標として掲げました。市内のすべての認可保育所(園)、幼稚園を通じた情報提供を行います。		実績	262 箇所		内容	市内のすべての認可保育所(園)、幼稚園
			達成度	100 %	%	年度	
			計画			内容	
			実績			内容	
		達成度	%	%			
コスト			事業費	千円	千円		
			うち一般財源	千円	千円		

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	22年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	子育て中の保護者が子どもの成長や年齢に応じた情報をタイムリーにかつ手軽に入手できるよう、平成22年7月に情報誌「こそだて情報」の改修を行うとともに、発行部数を大幅に増やし(就学前児童数に応じた部数=5万部)、全保育所・幼稚園に通う児童に保育所・幼稚園を通して配布しました。
------	-------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	保育所・幼稚園に通う全児童に「こそだて情報」を配布することにより、保護者に子どもの成長や年齢に応じた情報をタイムリーに提供することができています。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	情報誌「こそだて情報」作成・配布にあたっては競争入札を行い、経済的・効率的な作成・配布に努めています。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	子育ての悩みや不安を感じている保護者が増加している現在、保育所・幼稚園を通じた情報提供は、「子育ての悩みや不安の解消」に向けた情報を保護者にタイムリーに提供できる点で高い効果があります。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。	4	市の子育てに関する施策や施設に関する情報の取りまとめ等については、市のみが可能であり、実施主体としては市が適切であると考えます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。 ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了	ウ	今後とも、子育て中の人や、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるよう、保育所・幼稚園を通じた情報提供の継続実施に努めます。

【次年度計画】

目的実現のために23年度に実施すること	23年度においても、子育て中の人や、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるよう、保育所・幼稚園を通じた情報提供の継続実施に努めます。	前年度に評価した今後の方向性
---------------------	-------------------------------------------------------------------------------	----------------

「元気発進！子どもプラン」事業評価票

平成 22 年度実施事業	新規	拡充	重点	継続

担当局/課	教育委員会・企画課
連絡先	582-2357

政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり
------	----------------------

事業名	保育所・幼稚園情報の積極的な提供
-----	------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	市民に愛され親しまれる保育所・幼稚園となるため、また、市民が保育所・幼稚園を選択する際の一助となるよう、ホームページの充実や、子育て情報誌の作成などにより、積極的に、保育所・幼稚園の情報提供に取り組むものです。		
	その結果、実現を目指す施策名	施策名	子育ての悩みや不安への対応	

目的実現の為に実施する内容	実施工程	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計画変更理由		
		当初の予定	積極的な情報提供の実施					新たな計画に基づき実施する予定	
		これまでの進捗状況、今後の予定	積極的な情報提供の実施					新たな計画に基づき実施する予定	
実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)					平成22年度	平成23年度	目標	
	ホームページの開設	計画	80 %	90 %	年度	平成25年度			
	保護者が簡単に情報を取得しやすくするためです。	実績	83 %	%	内容	全園			
		達成度	103.8 %	%					
	子育て情報誌の作成	計画	-	-	年度				
	「くらしの便利情報」、「北九州市こそだて情報」により幅広く情報提供を行い、保護者が選択する一助にするためです。	実績	掲載		内容				
	達成度	- %	- %						
コスト	事業費	千円	千円						
	うち一般財源	千円	千円						

【事業の実施結果・進捗状況の確認】	
実施結果	22年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。 ・各園のホームページを全園で84%が開設しており、ネット社会の昨今、市民が保育所・幼稚園を選択する際に大変有効な手段となっています。 ・「くらしの便利情報」、「北九州市こそだて情報」により幅広く情報提供を行い、保護者が選択する一助となっています。 ・公立幼稚園では、年3回「はぐくみ」を発行しており、よりタイムリーな情報発信をしています。

【事業の再検証】			
評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	・市民にとって、お子さんの保育所・幼稚園の選択の問い合わせは特に多く、ホームページ、情報誌を紹介することによって、大変有効な手段となっています。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	・「くらしの便利情報」、「北九州市こそだて情報」の中に、いろいろな制度を凝縮して発行しているため、低コストで市民にたくさんの情報を提供できます。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	・保育所・幼稚園の選択に関する情報提供は市民ニーズが高く、園情報や補助制度については積極的な情報提供が必要です。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。	4	・積極的な情報提供の中で、「くらしの便利情報」、「北九州市こそだて情報」については、園情報だけでなくいろいろな制度の情報発信ができるため必要です。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	今後も積極的な情報発信を継続するとともに、タイムリーな情報提供を行っていく必要があります。

【次年度計画】		
目的実現のために23年度に実施すること	各私立幼稚園に対し、ホームページの開設を、呼びかけていきます。	前年度に評価した今後の方向性

「元気発進！子どもプラン」事業評価票

平成 22 年度実施事業	新規	拡充	重点	継続

担当局/課	広報室広報課
連絡先	582-2236

政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり
------	----------------------

事業名	市政だより、市政テレビ、ホームページ等による子育てに関する情報提供
-----	-----------------------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	市政だより、市政テレビ、ホームページなどを活用し、子育てに関する情報を提供します。
	その結果、実現を目指す施策名	施策名 子育ての悩みや不安への対応

目的実現の為に実施する内容	実施工程	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計画変更理由	
		当初の予定	市政だより、市政テレビ、ホームページなどを活用し、子育てに関する情報を掲載・放送					
実施状況	これまでの進捗状況、今後の予定	市政だより、市政テレビ、ホームページなどを活用し、子育てに関する情報を掲載・放送						
	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)				平成22年度	平成23年度	目標	
実施状況	市政だより「特集」掲載回数				計画	-	2 回	年度
	全世帯(約35万世帯)に配布している市政だよりの「特集」で取り上げられることは、広報の効果が高いと考えられるため活動指標として設定しました。				実績	4	回	内容
					達成度	%	%	
	市政テレビ、ラジオ放送回数				計画	-	8 回	年度
自主広報として市政テレビ、ラジオで放送することは、伝えたい情報を多くの市民にわかりやすく迅速に伝えることができ、広報の効果が高いと考えられるため活動指標として設定しました。				実績	8	回	内容	
				達成度	%	%		
コスト	事業費				7,602	千円	6,886	千円
	うち一般財源				7,602	千円	6,886	千円

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	22年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	平成22年度はこれまで、市政テレビでは「ほっと子育てふれあい事業」「放課後児童クラブ」など子育てに関する番組を5回放送、市政だよりでは、「元気発進！子どもプラン」「児童虐待」など子育てに関する特集を4回掲載しました。この他に、市政だより、ホームページでは、各課の実施する子育てに関する事業の情報を年間を通して掲載しています。また、ホームページではトピックス、お知らせ、メールマガジンに「子ども手当」「子どもまつり」など子育てに関するホームページへのリンクを適宜掲載しています。
------	-------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4:高い 3:やや高い 2:やや低い 1:低い	4	市政だより、市政テレビ・ラジオ、ホームページそれぞれの媒体の特色を生かし、幅広い広報を実施することが出来たと考えます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。		4	広報室では、市政情報について、市政だより、市政テレビ・ラジオ、ホームページ等による総合広報を実施しており、子育てに関する情報提供にこれらを活用することは、経済的にも効果的です。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。		4	事業の実施時期に合わせた情報提供や速報性を生かした情報提供などそれぞれの媒体の特色を生かして、効果的な広報が出来たと考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。		3	自主広報媒体である市政だより、市政テレビ・ラジオ、ホームページ等を活用することで、市の施策や事業について市民に伝えたい情報を効果的にわかりやすく発信することができると考えます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ		広報室では、市政だより、市政テレビ・ラジオ、ホームページ等の自主広報媒体を活用し、効果的でわかりやすい市政情報の提供に取り組んでいます。今後もこれらの媒体を活用して、子育てに関する情報を提供します。

【次年度計画】

目的実現のために23年度に実施すること	市政に関する情報を提供している市政だより、市政テレビ、ホームページなどを活用し、今後も子育てに関する情報を掲載・放送します。	前年度に評価した今後の方向性
---------------------	----------------------------------------------------------------	----------------

「元気発進！子どもプラン」事業評価票

平成 22 年度実施事業	新規	拡充	重点	継続

担当局/課	教育委員会・企画課
連絡先	582-2357

政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり
------	----------------------

事業名	教育委員会の広報・広聴機能の充実
-----	------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	新聞やテレビ・ラジオ、ホームページなどを活用し、学校や地域、行政などが行う教育活動等を市民に情報発信するとともに、広く市民からの意見を聴取し、開かれた教育委員会を目指します。
	その結果、実現を目指す施策名	施策名 子育ての悩みや不安への対応

目的実現の為に実施する内容【手段】	実施工程	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計画変更理由
		当初の予定	パブリシティ活動の実施 233件	パブリシティ活動の実施 233件	パブリシティ活動の実施 233件	パブリシティ活動の実施 233件	
これまでの進捗状況、今後の予定		パブリシティ活動の実施 185件	パブリシティ活動の実施 233件	パブリシティ活動の実施 233件	パブリシティ活動の実施 233件	新たな計画に基づき実施する予定	
実施状況	成果・活動指標（上段：指標名、下段：指標設定の考え方）				平成22年度	平成23年度	目標
	パブリシティ活動件数	計画	233 件	233 件	年度	平成25年度	
	市民に対する積極的な情報発信のためには、注目度の高いマスコミでの報道は重要です。そのため、報道機関への情報提供を積極的に実施する必要があります。	実績	185 件		内容	233件	
		達成度	79.4 %	%			
		計画			年度		
		実績			内容		
	達成度	- %	- %				
コスト	事業費	3,635 千円	5,470 千円				
	うち一般財源	3,635 千円	5,470 千円				

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	22年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	新聞・テレビなどの報道機関に対し、記者発表や資料配布等による情報提供を行い、教育委員会や学校の取組を多くの市民に積極的に広報しました。その結果、平成22年度のパブリシティ活動は延べ185件、新聞掲載件数;79件、ホームページアクセス件数;1,215,240件となり、「市長への手紙」や「市民のこえ」等の広聴活動に関しては175件でした。 また、「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」について出前講演を実施するとともに、市政だよりや広報誌を活用して教育委員会や学校の取組を広く市民に広報・啓発しました。
------	-------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	3	・新聞・テレビなどの報道機関に情報を提供するパブリシティ活動を行っています。 ・教育委員会や学校の取組について、出前講演や市政だより、広報誌等を活用し市民に周知・啓発することにより、「必要とされる情報が市民に届く仕組みづくり」に一定の効果があったと考えます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4 4 2: やや低い	・パブリシティ活動による新聞、テレビでの紹介は非常に注目度が高く効果的であり、また費用もかからず経済的です。 ・出前講演等については、既存の資料や媒体を活用することにより、できるだけコストを抑え周知・啓発の効果を得られるよう努めています。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4 1: 低い	・教育への市民参画を図るためには、積極的な情報提供が必要です。 ・教育行政にかかる各種制度や各施設が行うイベント等について、市民ニーズは非常に高いと考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。	4	・教育への市民参画を図るためには、実施主体は市が適切であると考えます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア	・タイミングを捉えた情報発信に今後とも留意していく必要があります。 ・費用がかからず注目度の高い、パブリシティ活動を積極的に行うとともに、ホームページを活用するなど工夫した情報発信を行う必要があります。 ・今後も教育委員会や学校の取組をさまざまな手法により積極的に広報することにより、市民に必要とされる情報の提供に努めます。

【次年度計画】

目的実現のために23年度に実施すること	新聞・テレビなどの報道機関に情報を提供するパブリシティ活動を行います。また、市内の小・中学校の保護者等に教育委員会や学校の取組を積極的に情報発信するために、教育委員会広報紙を発行します。	前年度に評価した今後の方向性
---------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------	----------------

「元気発進！子どもプラン」事業評価票

平成 22 年度実施事業	新規	拡充	重点	継続

担当局/課	教育委員会・指導企画課
連絡先	582-2367

政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり
------	----------------------

事業名	学校開放週間
-----	--------

【事業の概要】	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	学校教育に対する理解を深めるとともに、学校の情報を市民と共有することを目的とします。		
	その結果、実現を目指す施策名	施策名	子育ての悩みや不安への対応	

【目的実現の為に実施する内容】	実施工程	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計画変更理由
		当初の予定	学校開放週間全校実施				
	これまでの進捗状況・今後の予定	学校開放週間実施校数 212校					新たな計画に基づき実施する予定
【実施状況】	成果・活動指標（上段：指標名、下段：指標設定の考え方）			平成22年度	平成23年度	目標	
	学校開放週間実施校数		計画	212 校	212 校	年度	平成25年度
	学校教育に対する理解を深めるとともに、学校の情報を市民と共有することを目的としていることから、全校での実施を目標とします。		実績	212 校		内容	全校
	学校開放週間来校者数		達成度	100 %	%		
	さらに多くの保護者や地域の方に来校してもらおう一層の推進を図り、平成25年度までの5年間で平成20年度(来校者数88,013名)比2%の増加を目標としました。		計画	88,500 人	89,000 人	年度	平成25年度
		実績	84,672 人		内容	90,000人	
		達成度	95.7 %	%			
【コスト】		事業費		千円	千円		
		うち一般財源		千円	千円		

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

【実施結果】	22年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	<p>実施工程通り、全校で実施することができました。</p> <p>また、来校者数は、計画に達しなかったものの、昨年度に比べて約33,000人増加し、1校あたりの平均開放日数も0.4日のびました。</p> <p>さらに、校長・園長のアンケートでは、学校開放週間に対する保護者や地域の方の評価が高く、「開かれた学校づくり」のためには今後も継続することが大事であるという意見が多くあり、今後も取組を推進していきます。</p>
--------	-------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業の再検証】

【評価】	【有効性】 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	平成22年度の校長へのアンケート調査によると、平成15年度から実施している「学校開放週間」の目的や意義が年々保護者や地域に定着してきており、日常の教育活動を見ることが出来ることに対して、保護者や地域の評価が高いことがわかっています。
	【経済性・効率性】 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	学校・園における通常の教育現場を保護者や市民が自由に見学できる日を全校一斉に実施することで全所的なPRにつなげており、コストをかけずに学校教育の情報発信、学校・地域・家庭との連携に高い効果を得ていると考えます。
	【適時性】 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	事業の継続によって保護者・地域住民に定着してきており、「信頼される開かれた学校」として地域や家庭から理解と支援を得るために、今後も取組を推進していく必要があります。
	【市の関与の必要性】 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすることはできないのか。	4	市立学校における事業であるので、他の実施主体は考えられず、実施主体は市が適当であると考えます。
【今後の方向】	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	本事業は、保護者や地域の方々への学校教育の理解を深めるとともに、学校情報を市民と共有するために、重要な事業であると考えています。今後も、ホームページなどによる広報を実施するなど一層の推進を図っていきます。

【次年度計画】

目的実現のために23年度に実施すること	ホームページなどによる広報を実施するなど一層の推進を図っていきます。	前年度に評価した今後の方向性
---------------------	------------------------------------	----------------